



西宮市議会議員

【2024年8月発行】

たかの しん

政党無所属・34才

- ◆苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
- ◆元・阪急不動産（株）/阪急阪神不動産（株）勤務

公式HP・SNSは
こちらから！

文書集配事務の委託費用を削減するべきです！

■「府内メール便」に多額の委託費用を投じています。

本市には六湛寺町に位置する市役所本庁舎・第二庁舎の他、各地域の支所、学校等、多くの公共施設が存在しています。それらの拠点間では原則として毎日文書が集配されており、集配業者への年間委託費用は約1,100万円にのぼります。厳しい財政状況の中、市役所内部の事務経費はできる限り抑え、限られた財源は市民サービスの向上に充てるべきです。集配費用を削減するために集配頻度を毎日から隔日（2日に1回）へ変更するよう提案しました。

■集配頻度の見直しを進めるために。

私が調査した結果、集配文書には「各拠点へ送付するチラシ・ポスター」や「支所で手続が完了した申請書の原本」等、緊急性の低い書類を多く含むことが明らかになりました。給与明細・請求書等、人事・財務関係の書類には一定の迅速性が求められますが、これらはシステムの導入や更新によって紙での取り扱いを大幅に削減できます。手続に原本が必要な書類も「急ぎの場合は先行してPDFを送付」「件数の多い月末のみ毎日集配」等の工夫を取り入れることで、集配頻度の低下による市民への影響は最小限に留められます。こうしたペーパーレス化や業務フローの精査を進め、集配文書の総量を削減するべきです。

私の指摘に対し、市は文書の総量削減を進めるとともに、集配頻度の見直しへ前向きに取り組む考えを示しました。提案の実現に向けて、今後の進捗状況を注視してまいります。

チラシをリニューアルしました！今後も定期的な広報活動を続けてまいります。

市政報告チラシの発行が20号に到達したことを機に、大幅なリニューアルを行いました！政策に関する情報を充実させつつ、読みやすい構成を心がけてまいりますので、ご意見をお寄せいただければ嬉しく思います。引き続き、年4回の定例会ごとにチラシを発行し、皆様のお手元へお届けしてまいります！



ポスティング & 朝の駅立ちを実施しています！

◇集配文書の種類（2023年度）

カテゴリ	発送	収受
1. 人事関係	89	92
2. 財務関係	18	20
3. 申請書・報告書等	130	205
4. 名簿・リスト類	35	12
5. チラシ・ポスター等	197	13
6. 通知・依頼・案内等	111	36
7. 書類以外（シール等）	16	1
8. その他	48	28
合計	644	407

学校給食におけるアレルギー対応の強化を！

■本市の除去食対応は限定的です。。

本市の学校給食では、食物アレルギーがある児童・生徒に対して除去食対応（例：かきたま汁を、卵を入れる前の状態で提供）が行われています。本市で除去されるのは卵のみですが、他市ではえび・かに・小麦・ナッツなど、複数の食材が対象となっています。除去食対応がされていない場合、アレルギーの対象が含まれる献立の度に、保護者は代替食（お弁当）を用意しなければなりません。2017年度に除去対象を市内で統一するまでは卵以外の食材を除去していた学校があることもふまえ、対象の拡大を求めました。

■アレルギー対応を多角的に進めるべきです！

調理室の構造や人員体制、対象人数等の都合で、除去食対応できる食材数は学校ごとに異なります。私は全ての学校で除去食対応する食材を増やした上で、可能な学校ではその他の食材についても除去すべきと考えます。また、アレルギー対応には「アレルギーを引き起こす食材はできる限り献立で使用しない」という観点も重要です。安全性を最優先としつつ、引き続きアレルギー対応の強化を訴えてまいります。

持続可能な集会施設を目指して。

■集会施設には課題が山積しています。

公民館・市民館等の集会施設は地域での様々な活動に利用されている重要な公共施設ですが、その多くが深刻な老朽化に悩まされています。また、施設の配置状況には偏りがあり、集会施設が不足している地域も存在します。一方で厳しい財政状況の中、施設の新規整備はもちろん建替えや大規模修繕も難しくなりつつあります。こうした現状をふまえ、集会施設の適正配置と持続可能なあり方を検討するべきです。

■将来を見据え、あり方の抜本的な検討を！

集会施設には様々な種類があり、「社会教育」「勤労者福祉」「男女共同参画」といった施策分野ごとにそれぞれの担当部署が整備してきました。しかし、そうした設置目的と関係なく、集会室の一つとして利用されていることが多いのが実情です。集会機能を持ったあらゆる公共施設について、所管部署の枠を超えて一元的に管理し、地域ごとのバランスや利用実態にあわせて再編を進めるべきと考えます。

今後の方向性としては、学校施設との複合化が効果的です。少子化によって増加する空き教室を地域の集会室に転用するほか、家庭科室や音楽室は食事や演奏を伴う行事での利用も考えられます。学校施設を活用することで整備費用を縮減できるほか、児童・生徒と地域コミュニティの交流が生じることも期待できます。こうした手法は全国的に注目を集めており、本市でも検討を早急に具体化しなければなりません。

私の指摘に対し、市は集会施設の一体的な維持管理や効果的な配置、複合化の検討等に取り組む考えを示しました。今後の動向を注視し、必要な指摘・提言を続けてまいります。

■PROFILE／鷹野 伸（たかの しん）

【お問い合わせ先】 mail@takanoshin.jp / 070-1524-7109

1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中、「甲東ヌーヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ」を設立（初代代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在2期目。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。

【事務所住所】〒662-0812 西宮市甲東園3丁目1-37-308 ※ご来訪の際は事前にご連絡くださいませ。

